

新しい県総合計画を適切に推進するための方向（案）について

1 計画を適切に推進するために

新しい県総合計画を適切に推進するためには、「いばらきの目指す姿」で掲げた基本理念や目標の実現を目指して、県づくりの主役である県や県民、市町村などの多様な主体がその考えを共有するとともに、本県の恵まれた地域資源や潜在力を最大限に活かして、限られた財源の効果的な活用に努め、効率的かつ重点的に取組を進めていくことが重要です。

2 具体的な計画の推進の方向

(1) みんなで創る「いばらき」

地域づくりの主役である県民をはじめ、企業やNPOなどの多様な主体が、計画の基本理念や目標をしっかりと共有し、「新しい公共」をはじめとする様々な地域活動に取り組み、互いに協働・連携して、これからの「いばらき」をみんなで創っていきます。

(2) 茨城の地域資源や潜在力の活用

本県の豊かな自然や特色ある歴史・文化、豊富な農林水産物、最先端の科学技術や日本有数の産業の集積、さらに、陸・海・空の広域交通ネットワークなど、様々な地域資源や潜在力を一層発展させ、最大限に活用していくことにより元気な県にしていきます。

(3) 行財政改革の推進

危機的な県財政状況を克服し、必要な行政サービスを安定的に提供できるよう、これまで以上に効果的・効率的な行財政運営に努めていきます。

(4) 計画の適切な進行管理と評価による行政経営の推進

計画に掲げた目標の実現に向け、県が推進している施策の効果や成果について、県民の視点に立って点検・評価し、それを広く公表するとともに、社会経済情勢の変化に応じ必要があれば数値目標など計画の柔軟な見直しを検討するなど、適切な進行管理と評価による行政経営を推進していきます。

(5) 地方分権の推進と市町村・近隣県等との連携

地方が自らの判断と責任により、地域の実情に沿った行政を展開できるよう地方分権を推進し、県と市町村が適切な役割分担のもと、相互に連携を図りながら、いばらきづくりを進めます。

また、地域の活力を維持・発展させていくため、県域を越えてそれぞれの地域資源を活用し合ったり、補い合ったりするなど、より広域的な連携を推進していきます。

(6) 総合計画と各部門別計画との役割分担の明確化

総合計画と県の各部局等が策定する部門別計画との緊密な連携を図り、具体的な施策の内容等については、部門別計画に記載するなど、役割分担を明確にし、一体となって総合計画を推進していきます。

(参考) 現行計画の「計画を推進するために」

- 1 行財政改革と開かれた県政の推進
- 2 計画の適切な進行管理と評価による行政運営の推進
- 3 市町村との連携強化と県域を越えた広域的な連携の推進